

令和 5 年 4 月 2 6 日
四国電力送配電株式会社

電力スマートメーターを活用した水道遠隔検針に係る 内子町との共同実証試験の開始について

当社は、電力スマートメーターシステムを活用した「I o T向け通信回線サービス」を2021年4月より開始しており、本サービスを活用した取り組みとして、水道遠隔検針への適用について検討を進めてまいりました。

(2020年4月6日お知らせ済)

同サービスを活用した取り組みとして、内子町と共同で、水道遠隔検針に係る実証試験を本年5月から開始しますので、お知らせいたします。

本取組は、将来の検針員不足に対する課題解決を目的に、水道メーターの指針値や漏水等のアラーム情報の遠隔取得に関する実証を行うものであり、山間部を対象として遠隔検針の導入効果を検証するほか、冬期に発生しやすい凍結による漏水の早期発見などのお客さまサービスの向上に資する検討を実施してまいります。

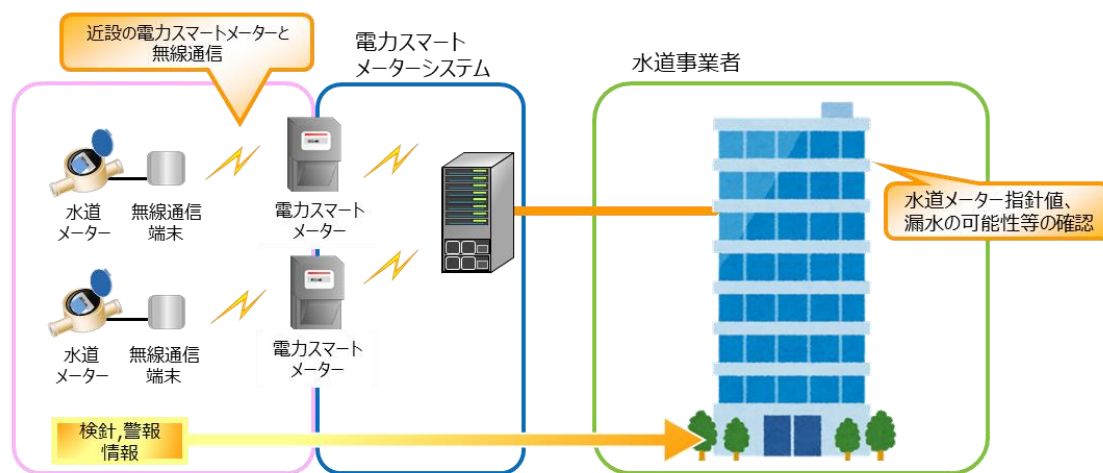
両者は、これらを通じて遠隔検針における新たな課題を確認・整理するとともに、遠隔検針により取得したデータを活用した見守りなどの新たなサービスについても、検討を行ってまいります。

以 上

<参考1> 実証試験の概要

実施事業者	内子町および四国電力送配電株式会社
実証場所	内子町（愛媛県喜多郡）
実証対象	水道メーター 8か所
実証開始時期	令和5年5月
実証内容	・ 現地水道メーターの指針値と遠隔取得した指針値の整合性確認 ・ 漏水等のアラーム情報の遠隔取得 ・ 遠隔検針における新たな課題の確認、整理 ・ 水道使用量の見える化など、利用者のサービス向上に資する検討（遠隔取得情報の利活用に係る検討）

<参考2> サービス概念図



【サービス導入で得られる効果】

